

地域活性化優良事例集

平成18年12月



「どんぐり1000年の森をつくる会」

宮崎県都城市

【概要】

どんぐりを種から育て地域住民とともに植樹する国土保全活動。植林面積の拡大に伴い困難になった森の管理を維持するため、本団体の会員でなくても参加しやすいように「どんぐり株主制度」を考案するなど活動の継続、発展に向け工夫が凝らされている。



【効果】

発行株数 61,524株(1株500円)

植樹数 65,800本

対象林 30.06ha

植樹会参加 約600人(H18.3)



NPO法人「沖縄OCEAN」(おきなわオーシャン) 沖縄県恩納村

【概要】

沖縄の若い世代のリーダーシップ育成や、海の保全の大切さを教えることを中心に活動。

沖縄本島の小学生と座間味島の小学生あわせて約60名とともに、ウミガメや海岸について考えるワークショップやクリーンビーチなどを実施。

この取組により、自然環境についてただ学ぶだけでなく、他地域からの小学生同士のふれあいや交流の機会となった



【効果】

・ 座間味プロジェクト 参加者数60名

・ ビーチクリーンアップ

ボランティア活動参加者数 延べ35,000人、回収したゴミの量 約100トン

・ ジュニアOCEANレンジャープログラム 延べ800人以上参加



小樽雪あかりの路実行委員会

北海道小樽市

【概要】

小樽運河の街並みで全国的にも有名な観光地となっている小樽市。しかし、冬季には観光客が著しく減少するため、何とか集客を図ろうと平成11年からこのイベントを開催。町内会や学校のクラスなど、地域住民の参加は年々増加。また、ボランティアスタッフは、日本全国から集まっているだけでなく、遠くは韓国やオーストラリアなどからも参加があり、国際交流の場ともなっている。



【効果】

- ・ 観客動員数 505,000人(H18.2.10～19)
- ・ 参加ボランティア数 延べ1,500人
- ・ 経済波及効果(H13小樽市調査から)
総売上 4,437百万円
波及 1,485百万円



地域再生マネージャー事業

農山村の資源を活かした観光産業の振興

北海道上士幌町

【概要】

〈地域再生マネージャー：加森観光(株)(平成16・17年度)、
(株)HVC戦略研究所(平成18年度)〉
・健康、環境、観光をキーワードにした「イムノリゾート上士幌構想」に基づき、健康といやしの観光プログラムの開発等を行っている。プログラムの一環として、16年度には「スギ花粉リトリートツアー(モニターツアー)」を実施。
・町内飲食施設で提供される料理の特色作りを目指して、「健康ブランド野菜」を研究・栽培している。また、地元産の野菜を使った地元商店・旅行者向けへの料理講習会を開催している。



【効果】

「スギ花粉リトリートツアー」(定員10名に対し276名の応募あり)が、17年度には旅行代理店から商品化された(26名の参加あり(18年2月～4月))。また、このツアーをきっかけに移住した夫婦(1組)もいる。

「榛名まちづくりネット」

群馬県榛名町

【概要】

様々な職種の会員一人一人が、自分の得意分野で自発的に事業を提案することによって、地域の行事を活性化させている。

現在は「食と芸術と癒しの里づくり」を目指して、県内各地の交流イベントに参加して特産品のPRを行ったり、森林自然学校や親子エコロジーキャンプを開催したりと、地域間交流のイベントを中心とした活動を実施。

【効果】

サロンコンサートは町の総合文化会館「エコー」建設の大きな原動力となった。

特産品の販売がきっかけとなって、現在、県産材を使ってミニロッジを建設し、交流と定住を図る活動を展開している。



市名にちなんだユニークなPR活動

福井県大野市

【概要】

江戸時代の「大野藩」の故事にならい、H8から全国に住む大野姓の人を支店主に任命して、大野市のPR活動を行ってもらうとともに、ネットワークを構築して市民との交流を行っている。

【効果】

これらの取組みにより支店主を通じて多くの人が大野市を訪れてくれるようになっただけでなく、さらにスポーツ交流など独自で交流を進めるところもでてきている



スーパー大火勢実行委員会

福井県おおい町(旧大飯町)

【概要】

製塩に使用した「炎」と原子の「炎」、町内の火災鎮護と五穀豊穡を祈願するために、約300年余り前から引き継がれている「大火勢」(高さ15mの檜の芯柱に横木を五段結び、それぞれの先端に萱等を結びつけ、それに火を点けて廻しては倒す豪壮な火祭り)をモチーフに「炎」の祭典の企画・運営に取り組んでいる。



【効果】

- ・ 5万人を超える来場者
- ・ 年間入り込み客数
平成4年まで10万人未満
→ 約50万人
(当該イベントに併せ、オートキャンプ場などもオープン)



平成17年度地域づくり総務大臣表彰
中部の未来創造大賞行政部門大賞受賞(国土交通省)
第6回ふるさとイベント大賞 大賞受賞((財)地域活性化センター)

うだつの上がる街並み整備

岐阜県美濃市

【概要】

うだつの上がる町並み地区が、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されたのを機に、官民でこの地区一帯の景観整備を進めている。主なものとして、電線類地中化をはじめ、周辺道路や小公園の整備、商店街などの空き店舗で民間が実施する景観に配慮した建造物の修理・修景に対するの支援、美濃和紙をテーマとした「美濃和紙あかりアート展」の開催などに取り組んでいる。

【効果】

- ・ 観光客数の増加
H6年 484千人 → H16年 585千人
- ・ 美濃和紙あかりアート展の来場者数
H6年 3千人 → H16年 90千人
- ・ 空き店舗の活用件数 10件(5年間)



「大道芸ワールドカップ実行委員会」

静岡県静岡市

【概要】

市民ボランティア約100名で当委員会を組織し、年間を通してパフォーマーの選定から大会運営までを賄っている。日本国内外から一流パフォーマー約80組130名を静岡に招聘し、毎年11月3日前後の週末を大会期間にして、パフォーマンスのワールドチャンピオンを決定している



【効果】

- ・ 観客数の増加 当初110万人→200万人
- ・ 当日ボランティアの増加 当初50名→700名
- ・ 経済波及効果(94年調査)
事業費154百万円に対し1,800百万円の効果

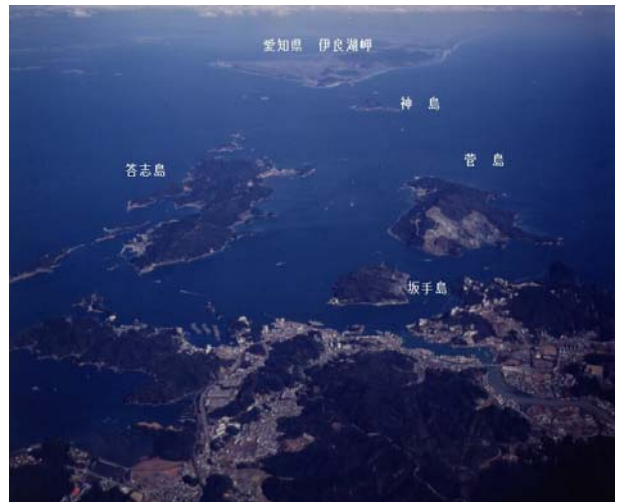
地域再生マネージャー事業

観光産業の再生

三重県鳥羽市

【概要】

- 〈地域再生マネージャー;中川氏(近畿日本ツーリスト)〉
- ・ 地産地消推進のため漁業の意識改革や実際の取引展開の折衝を行い、漁業関係者と旅館を結びつけるような集客交流のための基盤作りを行った。
 - ・ たこのぬめり取りや魚の干物作りなど水産加工体験を盛り込んだ「体験型観光プログラム」のPRとして広報用CD等を作成して地域再生マネージャーと民宿経営者が外部観光客への誘致活動を行っている。



【効果】

新規に中学校の修学旅行団体を3つ獲得

(学生団体客数 38,954人(16年度)→40,985人(17年度))。

また、旅館において、特別企画(地元海産物のフェア)により、17年度は2.75倍の集客効果

が図られた(16年度120人→17年度330人)。

「ワーク21上北山」

奈良県上北山村

【概要】

村の活性化を目指し、伝統芸能の継承保存や、環境保全活動、ヒルクライムレース等各種イベントを実施。現在では村になくてはならない団体にまで成長。特にヒルクライムレースは、全国、海外からも参加があり、人口915人の小さな村の一大イベントとして定着。



【効果】

ヒルクライムレースの実施により、村内の宿泊施設が満室になり、温泉等観光施設の売上も伸び、経済効果も生まれている。

第7回「ふるさとイベント大賞」大賞受賞（財）地域活性化センター

仁尾八朔人形まつり

香川県三豊市(旧:仁尾町)

【概要】

町の活性化を目的としたイベントで、町内の空き店舗や民家を利用して舞台を作り、「竹取物語」「水戸黄門漫遊記」などのおとぎ話や歴史上の名場面を巨大なジオラマと人形で再現。



【効果】

期間中は、ほぼ旧仁尾町人口の2倍以上の観光客が訪れており、全国でも珍しい伝統行事を商店街の活性化に結び付けることに成功。

人形・舞台作りは多くの町民がイベントに関係しており、年間を通じて人形作りが体験できる「人形工房」を作るなど、人形が町おこしの核に。



観光産業と農水産物の振興

長崎県対馬市

【概要】

〈地域再生マネージャー：日垣氏（全日空空輸（株））〉

- ・特産品として、蜂蜜と椎茸、一夜干しを選定し、ホテル売店等では「蜂蜜」の販売、大手デパートのギフト商品として「対馬しいたけ」、航空食品株式会社等によるカタログ販売商品として「対馬しいたけ」及び「一夜干しセット」の商品化を実施した。
- ・また、全日空ホテルレストランによる対馬食フェアの実施。さらに、地元特産品のリストづくりにより対馬の農水産物の振興を図っている。
- ・定置網漁体験、龍良山（たてらやま）原生林の巨木トレッキングなどを盛り込んだツアーや歴史イベントツアーを企画・実施している。



【効果】

- ・食フェアの開催により「対馬」の知名度の向上をはじめとした、物産の流通及び販路開拓に広く繋がりはじめた。
- ・ギフト商品、カタログ販売による新たな取り組みと、対馬産品のPRとなった。
- ・対馬市の有する観光素材に関する調査を実施し、体験型のツアーなどを商品化した。

平成15年度地域づくり総務大臣表彰

第13回優秀観光地づくり賞（社）日本観光協会会長賞受賞（平成17年度）

黒川温泉観光旅館協同組合 加盟旅館 24軒

【概要】

30年前全く知名度の無かった温泉地を、各旅館が自らの手で露天風呂を作り、地域共生の発想で入湯手形を販売し、その収益で、広葉樹の植樹といった自然環境の整備や環境と適合する統一看板の整備など空間の整備を継続的に実施。また、組合組織で「研修部」を中心に接客マナーの向上を目標とした従業員研修などを実施。さらに、地域全体が潤うために、料理については地元の山菜や地場の家庭料理を取り入れるなど、「地産地消」の取り組みを「女将の会」を中心に現在行っている。



【効果】

- ・ 入り込み客数 H6年度 779,466人 → H16年度 1,010,121人
- ・ 宿泊客数 H6年度 259,822人 → H16年度 336,707人
- ・ 入湯手形発行枚数 H6年度 90,999枚 → H16年度 147,380枚

ホスピタリティでつくる温泉保養地

大分県由布市(旧湯布院町)

【概要】

昭和46年、溝口薫平氏ら旅館の若手経営者を中心に「明日の由布院を考える会」をつくり、豊かな自然と温泉、そこに住む人々の充実し落ち着いた生活が、湯布院の最大の観光資源であるという住民の合意を形成。

様々なイベントを通じ、やがて湯布院町は全国レベルの知名度を持つ町となり、現在では年間400万人もの人が訪れる一大温泉地としての地位を確立。

【効果】

2004年

旅館業事業所数 167(観光動態調査より)

飲食店・宿泊業従事者数 2,079人(平成16年度事業所・企業統計調査より)



第13回優秀観光地づくり賞金賞総務大臣賞受賞(平成17年度)
昭和59年度 地域づくり自治大臣表彰受賞団体(旧家復元による商店街づくり等)

歴史的景観を活かした街並み整備

宮崎県日南市

【概要】

昭和49年から飢肥城復元に取り組み、昭和52年に武家屋敷など城下町が、重要伝統的建造物群保存地区に選定されている。町並み保存事業の他に景観向上のための電柱の地中化、城下町を取り巻く緑の景観を守るための市道のトンネル化や、旧山本猪平家や小村寿太郎生家などの建物の保存と公開などを進めてきた。

また、商人町では、本町通りの拡幅工事に伴い、自主的な申し合わせによるまちづくりを行った。

さらに、市民団体の飢肥楽市楽座や飢肥にあかりを灯す会による町並み景観を活かしたイベント実施、40数名の観光ガイドボランティアの町並み案内など、地域住民と行政が一体となりまちづくりに取り組んでいる。

【効果】

・ 入り込み客数 H17年 1,088千人

・ 観光ボランティアガイド(H12年度発足)による
観光案内客数

H12年度 4千人 → H17年度 約11千人





「鶴田町朝ごはん条例」

青森県鶴田町

【概要】

ごはんを中心とした日々正しい食生活習慣を身につけることが大切だと考え、町の食育基本法ともいべき「鶴田町朝ごはん条例」を制定、平成16年4月1日から施行し、鶴田町朝ごはん運動推進本部が中心となって、早寝、早起き、朝ごはんをキーワードに町民の健康増進を図る運動を展開。

【効果】

- ・ 平成16年7月1日から学校給食による麺、パン類を全面廃止（地場産品を使用した学校給食の推進）
- ・ 朝食欠食児童生徒割合
平成13年度11.3% → 平成16年度8.3%
- ・ 塩分摂取量
平成13年度13.2g → 平成16年度12.5g



第1回JAFRAアワード（総務大臣賞）受賞（(財)地域創造主催）

京都芸術センター

京都府京都市

【概要】

中心市街地の廃校をアートセンターとして活用。行政、地元住民、アーティストが参加した委員会を設立し、アーティストの創造環境の支援と地元住民との交流の両立を図るルールづくりを実現。伝統芸能、演劇、ダンス、美術などに関わる人々のネットワーク拠点となり、近代建築の資源を残した、遊休施設の新しい活用モデルとして全国に刺激を与えた。

【効果】

- ・ 当施設の取組みが、様々なメディアで取り上げられ、芸術文化都市・京都のイメージアップ向上に役立っている。
- ・ 来館者の満足度の向上（アンケート結果）、京都市以外からの来館者が4割以上と観光振興施策面でも効果が出ている。
- ・ 当センターを拠点として活動する若手芸術家が全国に認められるようになってきている。



「あったか高知」まんがフェスティバル実行委員会 高知県

【概要】

・多くの著名な漫画家を輩出している高知県を「漫画王国・土佐」として全国にアピールするとともに、漫画を通じた高校生の文化活動を応援するイベント。

15回目となる今年は、全国から330校の応募があり、予選審査を勝ち抜いた32校が、8月5日～8月6日に高知県で開催した本選大会に参加し、高校ペン児日本一を目指した熱戦を繰り広げた。

【効果】

- ・観客動員数 約7,000人
- ・本選大会の様子を全国のマスコミが取り上げたり、大会終了後は県内外の各種イベント会場で競技作品展を行うなど、全国に向けた情報発信が行われている。
- ・漫画を通じた文化活動を行っている全国の高校生にとって、本選大会に出場することが大きな目標となっている。





自治体間交流を中心とした農業プラス観光の村づくり 群馬県川場村

【概要】

・昭和56年に川場村と世田谷区の間で「区民健康村相互協力に関する協定」(縁組協定)を締結。昭和61年には活動(交流)拠点施設がオープンし、以降多数の交流事業が行われ、世田谷区民にとって川場村は「第二のふるさと」となっている。

平成17年には、文化交流事業、里山づくり、川場村産物のブランド化、農業塾、茅葺塾の5つの新たな交流事業の推進を共同で宣言。平成18年には「健康村里山自然学校」を開校。

・生産者農家53戸で構成する「農産物世田谷出荷組合」を組織し、栽培方法の管理を行い、安定した生産体制を確立し、ブランド化を推進。農産物出荷組合と世田谷区内の市場との直接契約により市場に搬入し、区内19店舗の八百屋で販売。



【効果】

- ・平成17年度販売実績 約10百万円
販売単価は、他の市場の約1.1倍
- ・平成18年度は、前年度の1.5倍の販売

を目指す。

田舎の原風景を舞台に感動と発見を！

新潟県越後田舎体験推進協議会(東頸城郡内6町村)

【概要】

・ブナ林、雪、棚田などの自然や農林漁業などの地域資源を活かした多彩な体験プログラムを用意し、都市部の学校の修学旅行、林間学校、セカンドスクールなどを誘致。学校関係だけで約5千人を受け入れ。

・平成17年には、推進協議会の活動範囲を、旧来の東頸城郡6町村(2万人)から、合併後の上越市、十日町市(旧19市町村、28万人)に拡大して、体験型観光事業を展開。

【効果】

- ・学校関係だけで約5千人を受け入れ。
- ・活動範囲を、旧来の東頸城郡6町村(2万人)から、合併後の上越市、十日町市(旧19市町村、28万人)に拡大して、体験型観光事業を展開。



飯山まなび塾・百姓塾

長野県飯山市

【概要】

- ・飯山で暮らしたい人、一時滞在したい人へのインターネットによる情報提供、田舎生活体験や先輩定住者との交流会などを通じて飯山暮らしを体験できる「飯山まなび塾」を実施。
- ・「農」をテーマに作付けから収穫までを体験できる「百姓塾」を年7回開催予定(平成18年度)。
- ・農協が中心となって、古民家や中古住宅等の仲介を実施。



【効果】

○H15～H17

- HPアクセス数 21,931件、
- ふるさと暮らし問い合わせ 120件、
- 飯山ふるさと暮らし実践講座・飯山まなび塾等参加者 延べ121名、
- ふるさと暮らしセミナー等参加者 約50名、ふるさと回帰フェア2005への参加 等

第12回優秀観光地づくり賞金賞総務大臣賞受賞(平成16年度)

南信州観光公社

飯田・下伊那18市町村、地元企業

【概要】

市町村の境界を越えた広域の観光振興として、自然、人、歴史、文化などの地域資源を活かした田植えやスノーシュートレッキングなど体験プログラムを中心にプロモーション活動を実施している。

【効果】

- ・ 体験教育旅行受け入れ校数
H8年度 3校 → H15年度 101校
- ・ 体験プログラム利用人数
H11年度 6千人 → H15年度 39千人



「百姓王国」

岡山県吉備中央町

【概要】

地域ブランド化を目指し、地域ぐるみで営農組織をユニークな名称「百姓王国」で各基幹作目リーダーを大臣として、グリーンツーリズムやさまざまな学習体験、生活体験の受け入れの場として提供し、地域の人・物的資源を最大限に生かした第6次産業化に向け農業を行っている



【効果】

農業生活体験型宿泊施設利用者数

当初 68団体 1,633人 うち宿泊数 5団体 107人

現在 111団体 2,218人 うち宿泊数26団体 119人



五ヶ村村おこしグループ

宮崎県高千穂町

【概要】

夜神楽体験ツアー、刈干切り体験ツアーの開催による都市住民との交流、地元の夜神楽の後継者育成、天岩戸温泉茶屋での、地元産の小麦粉、小豆、サツマイモを使用した“天岩戸温泉団子”と地元産の小麦粉と地鶏を使用した“地鶏うどん”の提供等を行っている。

【効果】

- ・ 天岩戸温泉茶屋の売上げ
年間1,922千円
来場者 年間12,000人
雇用 年間延べ1,424人
- ・ 体験ツアー 回数
年間13回
参加者 年間822人
宿泊者 年間470人



交流型農村による地域活性化

沖縄県東村

【概要】

村民の森を中心としたグリーンツーリズム、エコツーリズムの推進、ダム湖や河川を利用した観光施設の整備充実を図るとともに、「交流型農村」による地域活性化を進めている。レクリエーションゾーンとして整備された「つつじエコパーク」を拠点に農林水産業の振興と特産品の開発、エコツーリズム等を中心とした「自然体験・滞在型観光」の確立を目指し、様々な取組を行っている。

【効果】

- ・ヒルギ公園来場者数の倍増
- ・農産物販売所の売上げが倍増
- ・村民の森整備による雇用効果の発生
- ・村内の若者を対象に体験指導者養成講座を開設し、人材育成を図る。





農事組合法人宮守川上流生産組合

岩手県遠野市(旧宮守村)宮守川上流地域

【概要】

地域ぐるみで効率的な農業経営を実現するために、集落内の農地を一元化し、1つの農場として運営する「一集落一農場」の集落営農に取り組んでいる。

また、山形県白鷹町との地域間交流を始めるとともに小中学生や高齢者との世代間交流に取り組んでいる。

【効果】

- ・ わらびやブルーベリーなど新たな農産物の導入によって、遊休農地の解消が図られている(8ha)
- ・ 地域のシンボルの花「レンギョウ」5,600本、桜並木50本の整備、道路・河川清掃など多くの住民がボランティア活動に参加

平成15年延べ816名、平成16年延べ550名



不動尊クラインガルテン

宮城県丸森町

【概要】

町が整備し、地元農家で構成する管理組合に管理委託。管理運営費は、利用者からの使用料(年間36万円)と農産物直販所からの収益で賄っている。農産直販所、研修施設もあり、入居者と地元農家との交流が活発化。

クラインガルテンの使用期間は原則最長3年間。常時待機者がいる状態。利用者は仙台市及びその近郊の居住者が多いが、東京、千葉、福島からの利用者もいる。



【効果】

- ・ 平成18年3月までに、延べ108世帯 400人が契約。延べ19,200人が施設を利用し、丸森町に滞在、地元住民との交流を育んだ。
- ・ 町への年間入込客数 360,000人(平成17年度)

金山町の街並みづくり

山形県金山町

【概要】

「町全体を「金山杉」と「金山型住宅」のショーウィンドウに！」というキャッチフレーズのもと、地場産の杉を使った木造住宅の普及と、住民参加の街並み景観づくりを100年という長いスパンの中で進めていこうとするものである。



【効果】

街並み案内人(ボランティアによる街並み案内)活動

案内人会登録者

平成12年度 19人→平成16年度31人

案内延べ人数

平成12年度538人→平成16年度2,145人



桑茶を活かした農業振興

島根県江津市(旧・桜江町) (有)桜江町桑茶生産組合

【概要】

1ターナーが中心となり、かつて養蚕業が盛んだった土地柄を活かし、遊休桑園を活用した事業の可能性について研究開始。

桑の健康食品としての研究成果(血糖値の抑制等)から、平成10年に桑茶の商品化に成功。

平成12年に、桑茶の生産・加工・販売を行う(有)桜江町桑茶生産組合を設立。平成14年に、本格事業化のため工場・加工施設を取得。遊休桑畑を復元。現在は、桑茶の生産・加工のほか、桑の実、大麦、ハト麦、インゲン等にも拡大。



【効果】

- ・経営規模: 自社 15ha(桑園、畑)、
出荷契約50ha
- ・従業員: 48人
(自社38名 関連企業 10名)
- ・販売実績: 160百万円(平成17年度実績)

CAS凍結センターによる農水産物の販路拡大等

島根県海士町

【概要】

- ・最新鋭のCAS凍結システム(凍結しても細胞が破壊せず、解凍後の鮮度を維持するシステム)を導入し、輸送中に鮮度が落ちるといふ離島のハンディを克服し、地元のイカやイワガキなどを島外へ出荷し、ブランド化の確立と新たな販路を拡大。
- ・構造改革特区を活用して地元建築会社が畜産業へ参入し、(有)潮風ファームを設立。遊休農地の有効活用や担い手不足の解消を図り、畜産業を中心とした地域農業の活性化と雇用創出を目指す。
- ・「島生まれ島育ち」の隠岐牛ブランドの確立を目指し、東京食肉市場へ進出。



【効果】

<CAS凍結センターによる農水産物の販路拡大>

- ・平成17年度販売実績 27百万円 平成18年度は、108百万円を目指す。

<隠岐牛のブランド化>

- ・雇用 正規従業員 7人 平成18年度販売目標 105百万円 平成18年度出荷目標 78頭

下関フィッシャーマンズワーフ(株)

山口県下関市

【概要】

下関市地方卸売市場唐戸市場が移転新築したことにより、その跡地に、魚介類を中心とする小売・飲食店のテナントの集積をはかった商業施設を建設、下関の観光名所となっている。

【効果】

- ・海峡都市・下関市のイメージアップに貢献
- ・市の観光資源に結びつける施設となり、観光客誘致に貢献 →市立水族館との相乗効果で観光客・交流人口が増加
- ・中心市街地活性化にも貢献
- ・雇用人数の増加(約200名)



いそどり事業

徳島県上勝町 上勝町農業協同組合

【概要】

女性・高齢者でも生産が可能な料理の「つまもの」(もみじ、南天、松葉、柿の葉、いちょうなどの花木の枝先や山野草)を生産、販売。昭和61年から事業開始。出荷、販売をJA東とくしま上勝支所が担当、営業、企画部門を株式会社いそどりが行う仕組み。ICTを活用した生産販売情報の受発信システムにより、販売の安定化を図る。



【効果】

- ・「彩」ブランドで全国の日本料理店、市場(38市場)と取引。全国シェアは7割ともいわれる。
- ・販売額2.6億円/年(平成17年度)。生産者190人。年間1千万円以上の収入を稼ぐ生産者もいる。高齢者が働くことにより町の1人当たり医療費の減やU・Iターンも多くなってきている。

平成9年度地域づくり自治大臣表彰団体
(柚子加工品、心臓破りフルマラソン等で受賞)

ゆず加工品「ごっくん馬路村」等開発販売事業

高知県馬路村

【概要】

・手入れが行き届かず、不揃いで野生化していた「ゆず」を加工品化し、ジュース、ぽん酢醤油、ジャム等を販売。

「村」そのものを売り出す手法・デザインで産直ブランド(ジュースの名前は、「ごっくん馬路村」としての確固たる地位を確立。

・森づくりと間伐材を商品化する目的で第三セクター「エコアス馬路村」を平成12年に設立。

木製品のカバン等の新商品を開発、販売。

【効果】平成17年度

<ゆず加工品事業>

・販売額31億円/年。雇用者数60人。

通販会員数35万人。

<木製品販売事業>

・販売額約1,300万円。ヨーロッパでの評価が高く、NY近代美術館でも展示販売中。2006グッドデザイン賞受賞



木の花ガルテン

大分県日田市(旧大山町) 大分大山町農協

【概要】

・農産物のブランド化、農家の意欲高揚と所得の増加を図るため、平成2年に農産物直売所「木の花ガルテン」を開設。

現在は、合計7店舗(日田市、大分市、別府市、福岡市)を展開。

大山店の他、大分市、福岡市の計3店に農家の家庭料理を楽しむレストラン「オーガニック農園」を開設。その後平成18年、大山店に「きのこレストラン」をオープンした。

【効果】

販売額13.8億円／年

農産品480品目

年間購買客195万人。(平成17年度)





までいライフいいだて

福島県飯舘村

【概要】

「クオリティー・ライフ」を基本理念に掲げ、村内20行政区すべてで「地区別計画」(10年計画)を策定し、道普請、伝統芸能の継承、世代間交流など各種事業を展開。村は、財政支援として10年間で1行政区あたり1千万円を助成。

また、地区別計画の推進を図るため、「コミュニティ担当者制度」を設け、1行政区あたり2名の若手職員を任命。

第5次総合振興計画(平成17年度～26年度)においても、「までいライフ(飯舘流スローライフ)」を基本理念に据え、地域の自主自立に向け、生活の視点からの村づくりに取り組んでいる。



【効果】

・行政区という強固な地域コミュニティをベースとした独自の地域づくりスタイルは、地域の長期ビジョンを財政面で担保し、各地域の活力を喚起している取組みとして評価されている。

・関わった人々が各地区や主要団体のリーダーとなり、活力の牽引役となっている。

NPO法人「飛組」

群馬県前橋市

【概要】

防犯カメラの集中的な設置、会員の自家用車に青色回転灯を装着した「ブルーパトロール」の実施など、犯罪の防止に力を入れた活動を展開

【効果】

- ・ 世帯数380の地域で会員数が240名
- ・ 犯罪発生件数 日吉町における刑法犯認知件数
H16年1月～7月 105件→ H17年1月～7月 43件
うち、空き巣等侵入窃盗の発生件数
H16年1月～7月 17件→ H17年1月～7月 7件

NPO法人 飛組

まちづくりを推進しています



振興会を通じた住民参加 広島県安芸高田市(旧高宮町川根振興協議会)

【概要】

＜川根振興協議会＞

昭和47年の集中豪雨災害を契機に、自分達でできることは自分達で行うとの機運が醸成され、昭和52年には、全戸加入の振興協議会となる。ほたるまつり、高齢者への給食サービス・デイサービスへのボランティア支援など各種事業を展開。

＜安芸高田市での取り組み＞

現在、32の振興協議会が設置され、川根振興協議会をモデルとして、防犯活動など可能な取り組みから着手。

住民と行政の協働を基調とするまちづくりを進めるため、地域自治組織の代表者等からなる「まちづくり委員会」を設置し、各種まちづくり計画策定への参画、地域自治組織間の連携等の役割を担っている。



【効果】

川根振興協議会は、心のきずなを深め、住みやすい地域づくりのために活発な活動を展開。将来への夢を描いた「川根夢ロマン宣言」によって、次々と整備が進められ、地域の活力が向上。

当事例集のお問い合わせ等については、
総務省自治行政局自治政策課企画第一係
TEL 03-5253-5523 (直)
までお願いいたします。

ホームページアドレス一覧①

「どんぐり1000年の森をつくる会」(宮崎県都城市)	http://www.donguri1000nen.jp
NPO法人「沖縄OCEAN」(おきなわオーシャン) (沖縄県恩納村)	http://www.okinawaocean.org/jp/index.html
小樽雪あかりの路実行委員会 (北海道小樽市)	http://www.city.otaru.hokkaido.jp/kanko/akari2/akari-top.htm
農山村の資源を活かした観光産業の振興 (北海道上士幌町)	http://www.kamishihoro.jp/kikaku/immuno/main.html
「榛名まちづくりネット」(群馬県高崎市)	http://www8.wind.ne.jp/haruna-machinet/
市名にちなんだユニークなPR活動 (福井県大野市)	http://www.city.ono.fukui.jp/web_ono/data03/15syoko/kanko/onoya/ohnoya.html
スーパー大火勢実行委員会 (福井県おおい町(旧:大飯町))	http://www2.inetpia.ne.jp/sp-ogase/
うだつの上がる街並み整備 (岐阜県美濃市)	http://www.city.mino.gifu.jp/
「大道芸ワールドカップ実行委員会」(静岡県静岡市)	http://www.daidoge.com
観光産業の再生 (三重県鳥羽市)	—
「ワーク21上北山」(奈良県上北山村)	—
仁尾八朔人形まつり (香川県三豊市(旧:仁尾町))	http://www.shokokai-kagawa.or.jp/nio/
観光産業と農水産物の振興 (長崎県対馬市)	—
黒川温泉観光旅館協同組合 (熊本県南小国町組合加盟旅館 24軒)	http://www.kurokawaonsen.or.jp/
ホスピタリティでつくる温泉保養地 (大分県由布市(旧湯布院町))	由布市公式HP http://www.city.yufu.oita.jp/ 湯布院温泉観光協HP http://www.yufuin.gr.jp/
歴史的景観を活かした街並み整備 (宮崎県日南市)	http://www.city-nichinan.jp/
「鶴田町朝ごはん条例」(青森県鶴田町)	http://www.net.pref.aomori.jp/tsuruta/index.htm
京都芸術センター (京都府京都市)	http://www.kac.or.jp/
「あったか高知」まんがフェスティバル実行委員会 (高知県)	http://www.tosa-te.ne.jp/~katsuraLC/
自治体間交流を中心とした農業プラス観光の村づくり (群馬県川場村)	—

ホームページアドレス一覧②

田舎の原風景を舞台に感動と発見を！ (新潟県越後田舎体験推進協議会(東頸城郡内6町村))	http://www.yukidaruma.or.jp/taiken/
飯山まなび塾・百姓塾 (長野県飯山市)	http://www.furusato-iiyama.net
南信州観光公社 (飯田・下伊那18市町村、地元企業)	http://www.mis.janis.or.jp/~m-sinsyu/
「百姓王国」 (岡山県吉備中央町)	—
五ヶ村村おこしグループ (宮崎県高千穂町)	—
交流型農村による地域活性化 (沖縄県東村)	http://www.vill.higashi.okinawa.jp/
農事組合法人宮守川上流生産組合 (岩手県遠野市(旧宮守村)宮守川上流地域)	—
不動尊クラインガルテン (宮城県丸森町)	http://www02.jet.ne.jp/~fudonoen/index.html
金山町の街並みづくり (山形県金山町)	http://www.town.kaneyama.yamagata.jp/weblog/100/
桑茶を活かした農業振興 (島根県江津市(旧・桜江町)(有)桜江町桑茶生産組合)	http://www.kuwakuwa.tv/index.html
CAS凍結センターによる農水産物の販路拡大等 (島根県海士町)	http://www.ama-cas.com/
下関フィッシャーマンズワーフ(株) (山口県下関市)	http://www.kamonwharf.com/
いろどり事業 (徳島県上勝町 上勝町農業協同組合)	http://www.irodori.co.jp/
ゆず加工品「ごっくん馬路村」等開発販売事業 (高知県馬路村)	http://www.inforiyoma.or.jp/umaji/ http://www.yuzu.or.jp/ http://www.ecoasu.co.jp/
アンテナショップ出店による都市部への農産物直販事業・農村芸能の復活による「文楽の里」づくり (熊本県山都町(旧清和村))	http://www.seiwa-yasai1.jp http://www.town.yamato.kumamoto.jp/ka/syokokankoka/kanko/seiwabunrakumura1.jsp
コミュニティビジネスを通じた産業と雇用の創出 (熊本県荒尾市)	http://zofrex.co.jp/arao/
木の花ガルテン (大分県日田市(旧大山町) 大分大山町農協)	大分大山町農業HP http://www.oyama-nk.com
までいライフいいだて (群馬県前橋市)	http://www.vill.iitate.fukushima.jp/
NPO法人「飛組」 (群馬県前橋市)	http://www16.ocn.ne.jp/~higumi/top.html
振興会を通じた住民参加 (広島県安芸高田市(旧高宮町川根振興協議会))	http://www.akitakata.jp/site/page/machi/activity/